

研究紀要論文等査読基準

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター 公開日: 2023-03-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00029460

静岡大学教育学部附属教育実践総合センター

研究紀要論文等査読基準

1 論文

(1) オリジナリティー

- ・先行研究あるいは研究史、研究（実践）動向をおさえているか。
- ・それとの関連で、論文のオリジナルな成果・価値が明確に表現されているか（オリジナリティーが要求されるとともに、知識の発展に貢献するよう、過去の研究との関連性や研究結果の価値・意義・実用性などについての記述が必要）。

(2) 妥当性・信頼性・論理性・倫理面など

- ・実証を中心とする場合には方法の妥当性や信頼性、論証を中心とする場合には論理性や論旨の一貫性が備わっているか。
- ・人権への配慮など、研究の倫理的な条件を満たしているか。

(3) 形式・体裁

- ・表記、注記などに関して問題はないか。

2 教育実践報告

(1) 実践的価値と倫理面など

- ・実践の成果として公表する意義や価値が明確に、かつ客観性をもって表現されているか（オリジナリティーや過去の研究との関連、研究結果の価値・意義についての議論は原則不要）。
- ・人権への配慮など、研究の倫理的な条件を満たしているか。

(2) 形式・体裁

- ・表記、注記などに関して問題はないか。

附則

この基準は、令和4年6月23日から施行する。